



## みなと見学会の実施について

小松島港湾・空港整備事務所では、港の重要性を理解していただくため徳島小松島港を対象に、港湾業務艇「しまかぜ」を利用した「みなと見学会」を実施しております。

各種イベントの他、学校などを対象とした出前講座でも、必要に応じて「みなと見学会」を実施しておりますのでご興味のある方は、下記問い合わせ先へ連絡お願いいたします。

### 【平成24年 みなと見学会の開催実績】

- ・こまつしまビジターハーバーフェスティバル (平成24年 4月)
- ・小松島港まつり (平成24年 7月)
- ・沖洲小学校 出前講座 (平成24年 8月)
- ・北小松島小学校 出前講座 (平成24年 8月)
- ・みなとサマースクール2012 (平成24年 8月)
- ・こまつしまうまいもん祭り (平成24年11月)



港湾業務艇「しまかぜ」

### 港の重要性

現在、日本は食料の約6割、エネルギーに至っては9割を海外に頼っています。日本は四方を海に囲まれた島国ですので、食料やエネルギーを輸入するためには船か飛行機しか手段がありませんが、飛行機では大量の貨物を運ぶことが出来ません。日本の輸出入貨物の99.7%は船で運ばれています。すなわち、船が着く港を利用しており、港は日本のくらしや産業を支えています。徳島県で考えてみますと、徳島県の産業に紙を作る製紙業や家具などを作る木材関連産業があります。これらの産業は、木材を細かく切ったチップや原木などの原料を外国から輸入しています。これらの原料を大きな船で運んでくるので、水深の深い大きな岸壁が必要になります。すなわち、大きな岸壁があることで徳島の基幹産業が成り立っているのです。

### 読者のみなさま

今年は、寒さがひとしお身にしみてきています。

当事務所では、徳島小松島港沖洲（外）地区において、耐震強化岸壁の整備を進めております。今回、耐震強化岸壁の本体となる第1函目のケーソン据付を11月に行いました。この事業は、東南海・南海地震対策におけるハード対策として実施しており、耐震強化岸壁が完成することにより、物流の活性化や被災時における活動拠点としての役割が期待されます。今後は、耐震強化岸壁の早期供用に向けて、取り組んでいきたいと思っております。

また、東南海・南海地震対策のソフト対策としては、徳島小松島港の災害時における物流機能の早期回復や緊急物資の受け入れ拠点としての活用方法を検討する港湾BCPや堤外地に働く人々を対象とした避難対策の検討を行いました。

今年8月には、新たな津波想定が内閣府より発表され、さらなる防災対策の取り組みが必要となってきています。

当事務所の事業に、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

みなさまも寒さ厳しき折からご自愛下さい。

小松島港湾・空港整備事務所長 藤野 正宏



### 出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座（みなと学習、環境学習、防災学習）を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所  
TEL (0885)-32-3357

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」  
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>  
よりお問い合わせください。